

福山市老人大学 2018年度 ボランティア育成講座 開講式での学長挨拶

7月25日 午前9時45分 1-2教室

自然災害が少なく住みやすいと思っていた私たちの地域ですが、今回の豪雨災害では、身近な方が、大勢、被災されています。我々は、いつ弱者になるかも知れない環境に暮らしていることを強く教えられた気がしています。

そして、今、被災された方への復旧ボランティア活動が、盛んに行なわれています。「困った時は、お互い様」というボランティア精神が根付いてきている社会を嬉しく思います。

昨年度から、夏季集中方式に改めた「老犬ボランティア育成講座」、今年は、これまでで最高の52人の受講申し込みを頂きました。

「困ったら遠慮なく助けを求め、困った人が居れば、出来る援助をする」そうした相互扶助の気持ちと行動力が、老犬生の中に更に広まり・高まることを祈念して、開講に当たってのご挨拶といたします。

閉講式での学長挨拶

8月3日 午前11時30分 1-2教室

昨年度から夏休み集中方式に改めたボランティア育成講座、今日が5日目の最終日となりました。

ボランティア活動の対象は、子ども・障がい者・高齢者・災害者などいわゆる社会的弱者の場合が多いですが、我々の年齢の者は、子どもみたいになることを含めて、いわゆる弱者に何時なってもおかしくない、或いは既にそうなって居る日々を生きていることを実感させられています。

国家社会への貢献度や生産性が、声高に吹聴される昨今ですが、「世の中はお互い様。相互扶助の心が広まることで、誰もが安心して暮らせる社会にしていく力」だと強く思います。

強者の論理・利己主義・得手勝手が横行する社会にあって、ボランティア活動には、我々に人間の良心を呼び起こさせる力があると確信しています。

このことを、老人大学の運営と学生生活の基本に据えていきたいとの思いを申し述べて、閉講にあたっての挨拶といたします。